

日本の知恵、  
プラスチックの知恵

# 残りの人生をかけた、測量の旅

「伊能図」とも呼ばれた精密な日本地図を作成した、江戸時代の地理学者の伊能忠敬(1745-1818)。その偉業は、忠敬が隠居した50歳から暦学や測量学を学ぶところからはじまりました。

そして55歳になってから、「象限儀」や「経緯儀」りよていしや「量程車」など数々の測量器具を使つての本格的な実地検証の旅がはじまります。以来、蝦夷地から全国へと向かつた旅は延べ調査日数3736日、陸上測量距離4万3708kmにもなり、忠敬が測量し終わつたのは71歳、実に17年の歳月が過ぎていきました。この間、たゆまぬ測量と検証を繰り返して、長年の夢であつた日本地図を描き切つたのでした。

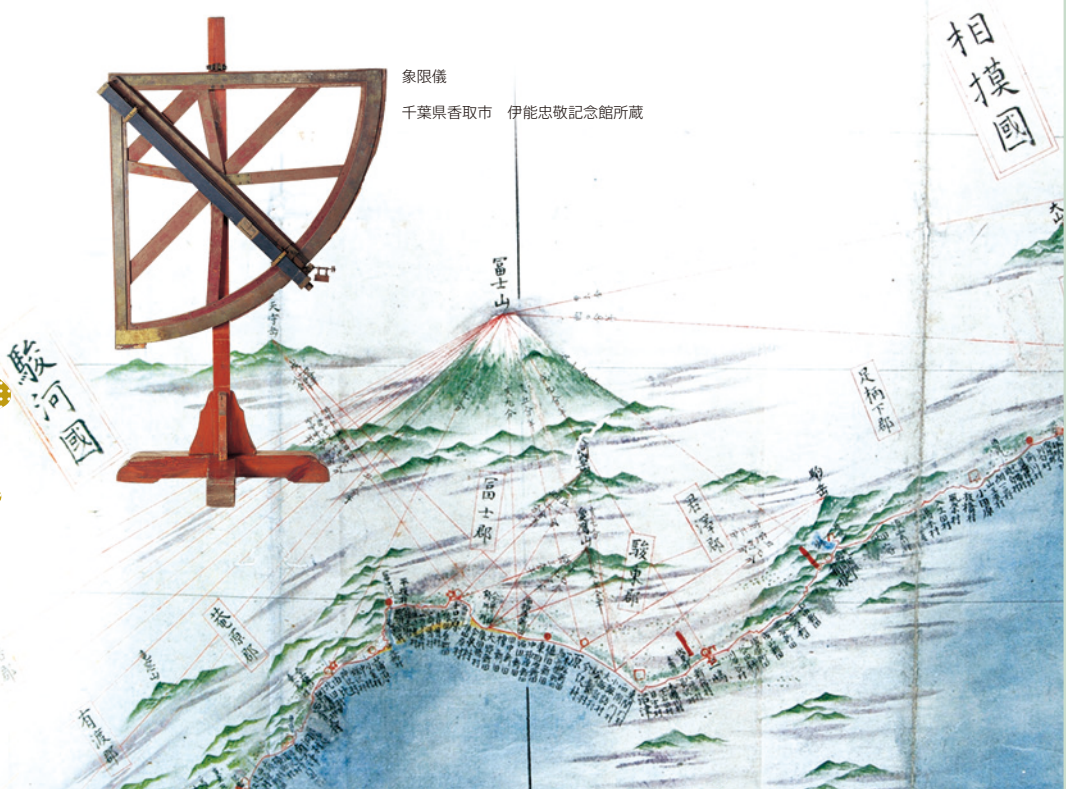
そうした地道な過程検証は、医療分野に貢献する住友ベークライトのバイオ関連製品・技術にも似ています。プラスチック加工と材料設計という2つの技術力で、日々の積み重ねの上に確立されています。



# 日本地図の



住友ベークライトのSの形をした人が、BIOを支える様子を表しています。私たちは創業支援・再生医療・検査診断の各分野にポリマーとプラスチックの技術で新たな価値を提供し続けます。



象限儀  
千葉県香取市 伊能忠敬記念館所蔵

プラスチックのパイオニア

住友ベークライト株式会社

S-バイオ事業部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル  
TEL:03-5462-4831 FAX:03-5462-4835 <http://www.sumibe.co.jp>